

アヤクチョの歌と踊りと Taki Oncoy について

佐々木直美（法政大学）

キーワード： タキ・オンコイ、アイラ、歌、踊り

Reconsideraciones de los canto, baile y Taki Oncoy

Naomi SASAKI (Hosei University)

Keywords: Taki Oncoy, ayra, canto (song), baile (dance)

タキ・オンコイは、人類学者ルイス・ミリョネスが1960年代にセビーリャのインディアス総文書館で出会った史料によって周知され、先住民による千年王国運動として多くの研究者から注目を浴びてきた。その史料とは、クリストバル・デ・アルボルノス司教が作成した3つの「業績調書 (*Informaciones de servicios*)」(以下「調書」)であり、ミリョネスはこれらの史料に書かれていたものをケチュア語で *taki onqoy* と綴り、スペイン語訳として *enfermedad del canto* と紹介した [Millones 1989; Millones (ed.) 1990]。ただし、史料の一部にタキ・オンコイの信奉者がアンデスの神格「ワカ」の憑依によって踊る、との記述があったことから、タキ・オンコイは「踊り病 (*enfermedad del baile*)」と呼ばれることが一般的となる。

1990年代には、タキ・オンコイを先住民による抵抗運動とする解釈に批判的な研究もでてくるが [Ramos 1992; 網野 1995]、依然としてこれを「抵抗」や「運動」と位置づける見方は学術的根拠とは別に一般的に人気がある。ペルーの伝統文化を語るうえでタキ・オンコイは強いインパクトを持ち続けており、先住民の抵抗を示す文化的シンボルとしてその言説と表象は再生産されている [Millones 2007:381-402]。

本発表は、ラモスや網野の指摘が十分説得力があるからこそタキ・オンコイはさらなる研究に値するとの立場から、史料・資料の再検討によってタキ・オンコイについて新たな解釈の可能性を提示した。

タキ・オンコイに言及するアルボルノスの「調書」は3つあり、1570年、1577年そして1584年

に書かれた。大変興味深いことにタキ・オンコイ初出の文書1570年の「調書」には「タキ・オンコイ、別名アイラ (*aira*)」と繰り返し記されている。本発表では、この別名 *aira* に注目した。ケチュア語で類似する語として *ayla* と *qayra* について言及したうえで、アヤクチョ地方の家畜の繁殖儀礼で歌われる歌 *ayra* と関係する可能性を述べた。アイラがアヤクチョ地方で歌と踊りに関わることを確認できたため、さらに *ayra* の事例を収集し分析することは今後の研究課題とする。

また、2つ目の問題提起としてタキ・オンコイの表記のブレを本発表では指摘した。3つの「調書」は、アルボルノスが召喚したスペイン人証人の証言を公証人が記したものであるため、アルボルノス自身が一人で筆を執ったものではないことを念頭においても、「調書」内のブレ、さらには元々の表記の「ちょっとした違い」は再考に値することを示した。「調書」内の表記の具体的な違いについては、(表1)の通りである。ほぼ同時代にタキ・オンコイに言及したポロ [Polo 1917[1571]]、ポマ [Guaman Poma 1615:282[280], 690[676]] そしてモリーナ [Molina 2010[1575]] の記述と16-17世紀のケチュア語の辞書における「タキ」と「オンコイ」を参照し、「タキ」は「踊り」以上に「歌」が主要な意味であること、「オンコイ」においては当時の辞書において「病」を意味することが確認できたが、史料のなかでは「y」の脱落が多く確認できることを指摘し、その信奉者を *taquiongo* と造語のように使用している事例を確認した。本発表ではインディアス総文書館から史料を取り寄せ手稿を確認したと

ころ、ongo と書かれているものに接続詞 y が続いているが、活字版では2語が統合されて ongoy と改められている可能性について指摘した。手稿全体を確認する作業は今後の課題とする。

	1570	1577	1584
Taqui Ongoy, y por otro nombre Aira	1		
Taqui Ongoy, y por otro nombre Aira (Ayra)	3		
Taqui Ongoy, por otro nombre Aira	1		
Taqui Ongoy, que por otro nombre se dize Aira / Taquiongo, que por otro nombre se llama Aira	(14/3) 17		
Taqui Hongoy, que por otro nombre se dize Aira	1		
Aira Taqui Ongoy, que ...	2		
Aira e Taquiongo / Taqui Ongoy e Aira	2		
hazer el Taqui Ongoy tan publica		1	
Taqui Ongoy, que es la		1	
Taquiongo, a que lo castigarse...		1	
Taqui Ongoy, que en los dichos...		3	
Taqui Ongoy, y el fundamento		1	
Taqui Ongoy, en la qual		1	
Taquiongo, (en) la/lo...			6
Taquiongo que....			1
Taquiongo, donde los naturales bailaban			1
☆ baile, bailando, bailavan			5

表1 アルボルノスによる各年の「調書」に記された「タキ・オンコイ」の具体的表記とその回数
☆は「踊る」という表記

【主要参考文献】

Gonzales Holguín, Diego, 1989[1608], *Vocabulario*

de la Lengua General de todo el Perú llamada Lengua Qquichua o del Inca. Universidad Mayor de San Marcos, Lima.

Guamán Poma de Ayala, Felipe, 2001[1615], *El primer nueva crónica y buen gobierno*. <https://poma.kb.dk/permalink/2006/poma/info/en/frontpage.htm>

Landa, Ladislao, 2018, *Mesianismo y utopía en America: Perú, siglo XVI*. Yolanda Carlessi, Lima.

Millones (ed.), Luis, 1990, *El Retorno de las huacas Estudios y documentos del siglo XVI*. IEP, Lima.

Millones, Luis, 1989, *Mesianismo e idolatría en los Andes Centrales*. Editorial Biblos, Buenos Aires.

Millones, Luis, 2007, *Taki onqoy: de la enfermedad del canto a la epidemia*. Centro de investigaciones Diego Barros Arana, Santiago.

Molina, Cristóbal de, 2010[1575], *Relación de las fábulas y ritos de los incas*. Edición crítica de Paloma Jiménez del Campo, transcripción paleográfica de Paloma Cuenca Muñoz, Iberoamericana/Vervuert, Madrid.

Polo de Ondegardo, Juan, 1917[1571], *Informaciones acerca de la religión y gobierno de los incas: seguidas de las instrucciones de los Concilios de Lima (1ª parte) y del estado... (2ª parte)*. San Martí. <http://simurg.csic.es/view/990000128800204201>

Ramos, Gabriela, 1992, Política eclesiástica y extirpación de la idolatría: discursos y silencios en torno al Taqui Onqoy. *Revista Andina*, año.10, no.1, pp.147-169.

Santo Tomás, Domingo de. 2011[1560], *Lexicon, o Vocabulario de la lengua general del Perú*. <https://archive.org/details/lexiconovocabula00do>
[mi](https://archive.org/details/lexiconovocabula00do)

網野徹哉、1995、「植民地体制とインディオ社会：アンデス植民地社会の一断面」、『近代世界への道：変容と摩擦』、歴史学研究会編、pp.127-157、東京大学出版会。